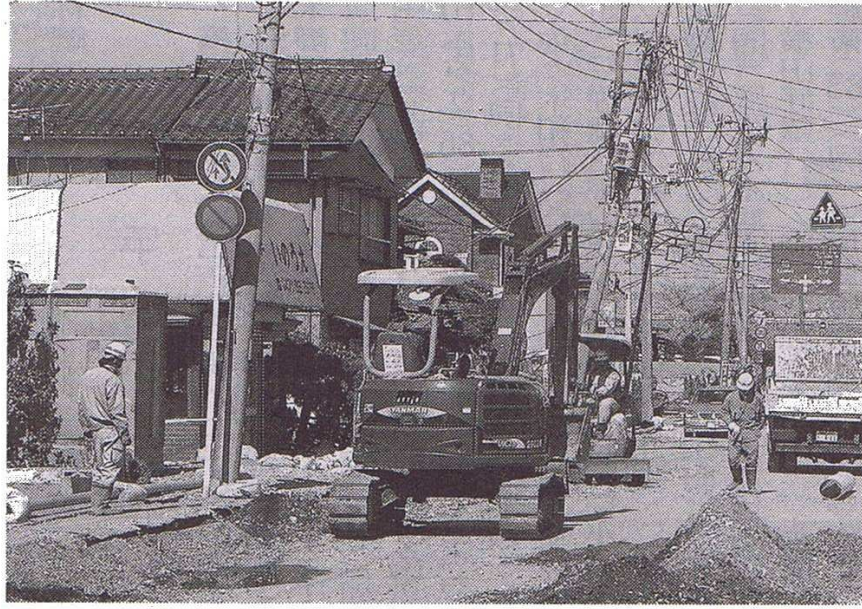


東葛



液状化現象に見舞われ、復旧作業が進められる我孫子市の布佐・都地区

液状化 我孫子118棟全壊

被災地区の半分 危険度マップ「対象外」

東日本大震災による液状化現象は、県北西部の我孫子市でも発生した。家屋の全壊は118棟(1日現在)に上り、県内では津波被害の大きかった旭市(427棟)に次いで2番目に多かった。被災地区の約半分は、我孫子市の液状化危険度マップで「対象外」とされており、市は液状化対策の見直しを迫られることになりそうだ。

液状化被害は、市の東端部の布佐・都地区のうち、利根川沿いの同市布佐二丁目、布佐、都の約10分に集中していた。地震直後は、

地中から水や砂があふれ出て道路が水浸しになり、上下水道や電気も止まった。多くの家屋が地中に数十センチから1メートル傾き、電柱や信号、ポスト、ブロック塀が倒れたり傾くなどした。

同市都の加藤昭さん(83)は「家が沈んで畳から砂が出てきておっかなかった。外に水があふれ玄関に入ってきたので、必死にくみ出した」と振り返る。

市災害対策本部によると、この一帯は1870年(明治3年)の水害で利根川があふれて沼ができ、戦後の1952年に川底からしゅんせつした砂を利用して埋め立てられた、との記録が残っているという。

だが、市が作成した液状化危険度マップでは、被災

地区の約半分が「対象外」とされていた。市は「十分にボーリング調査などを行ったものではなく、実際の状況を必ずしも示したものではなかった」と説明。多額の予算がかかるとして、十分な調査を行ってこなかったことを認める。

液状化による建物被害の

調査は、全壊を優先して、半壊、一部損壊はほとんど手つかずのまま。同市には災害救助法の適用が決まっているが、市は「家屋の建て替えなどには適用できず、今後、住民の意見を聞いて辛抱強く支援していくしかない」としている。

- 【支局】
- 柏 電話 277-0005
 - 柏市柏260-3
 - 電話 04-7166-0303
 - 千葉 電話 260-0013
 - 千葉市中央区
 - 中央4-15-3
 - 電話 043-225-2001
 - Fax 225-2190
 - メールはchiba@yomiuri.comへ
 - 成田分局 電話 282-0011
 - 成田空港内私書箱201
 - 電話 0476-32-5810
 - Fax 32-9777
 - 成田支局
 - 電話 0476-28-7911
 - 京葉 電話 273-0011
 - 船橋市湊町2-5-1
 - アイカワビル5F
 - 電話 047-431-2648
 - 【通信部】
 - 戸川 047-364-6271
 - 川 047-333-3335
 - 更津 0438-22-2377
 - 原 0475-22-2524
 - 子 0479-22-0154
 - 山 0470-22-0363
 - み 0470-62-0226
 - 取 0478-52-2954
 - 購読は県読売会へ
 - 千葉 043-224-1800
 - 船橋 047-333-5833
 - 柏 04-7146-0888
 - 成田 0476-22-7466
 - 広告 千葉読売会へ
 - 千葉 043-227-4336
 - 葛 047-479-3323
 - 東葛 04-7163-7441
 - 旅は読売旅行へ
 - 千 043-227-0471
 - 折 043-248-4511
 - IS

2011年4月3日発行
読売新聞 東葛版より

広報あびこ



市内の被害

今回の地震は、東北地方を中心に甚大な被害を及ぼしました。市内では、家屋の全壊が140件・半壊が10件(4月1日現在)、その他損壊が多数ありました。また、塀の損壊、道路や下水道など公共施設にも被害がありました。

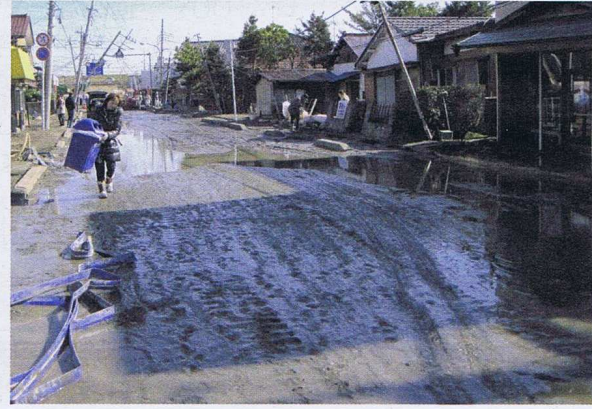
市は、直後からライフラインや被災地の優先復旧、避難所設営、被害調査に取り組みました。また、福島県からの避難者受け入れや相馬市などの被災地に物資や人的支援をしました。今後は、特に液状化で被害の大きかった布佐・都地区などにおける被災者支援や相談、地域の復興に積極的に取り組みます。

(写真はすべて布佐・都地区)

問/市民安全課・内線 487



液状化現象で傾いた信号機と電信柱(布佐・都地区)



3月11日に災害対策本部を設置

市では、地震発生後、速やかに(3月11日午後3時55分)「東北地方太平洋沖地震対策本部」を設置し、三分の一の職員を招集して、市内の被害状況の把握と対応に努めました。また、被災した方や帰宅困難者となった方の



緊急消防援助隊を福島県に派遣 我孫子市から12人が出動

3月13日に発令された、消防庁長官の出動指示を受け、千葉県各市の消防隊員で構成される緊急消防援助隊千葉県隊として、3月22日東北地方の被災地へ派遣されました。我孫子市からは、救急部隊と後方支



▲放射性物質のスクリーニング(検査)を受ける隊員